

特定非営利活動法人 虹色ダイバーシティ

活動報告書

ANNUAL REPORT

2018年9月～2019年8月



LGBTも働きやすい職場づくり 生きやすい社会づくり

虹色ダイバーシティは

LGBT等の性的マイノリティが働きやすい職場づくりを通じて
性的マイノリティとそのALLY(同盟者、支援者)をエンパワーレ
すべての人々が生きやすい社会づくりを目指します



NIJIRO DIVERSITY

特定非営利活動法人 虹色ダイバーシティ



虹色ダイバーシティの活動は、2019年で7期目を迎えます。
ご支援いただいているみなさま、本当にありがとうございます。

2019年、2月に「結婚の自由をすべての人に」訴訟が全国で始まり、7月には私の地元である茨城県で都道府県初のパートナーシップ制度がスタートしました。秋に開催されたラグビー・ワールドカップでは、国籍もルーツも多様な選手たちが共に闘う姿が、チームが「多様」であることの創造性や強さを示してくれ、LGBTに関するメッセージも発信されました。LGBTに関する社会の議論が、また一段と進んだと思える年でした。

一方で、2014年から行政とともにLGBT支援事業を続けてきた大阪市内で、地元テレビ局のニュース番組がLGBTに関する扱いで「炎上」する事件があり、スタッフ一同、大きなショックを受けました。その他にも、巨大台風による被害、京都アニメーションの放火事件、首里城の火災など、当たり前だと思っていた社会基盤や風景が、いかに脆く、大事なものだったのかを、思い知らされた年でもありました。

これから、2020年に東京オリンピック・パラリンピック、2025年に大阪万博を控え、ダイバーシティ推進の声はより一層、高まっていくと思います。その中で、私たちは、より地に足をつけたインクルージョン(社会的包摂)の推進に取り組んでいきます。LGBTの人たちが、社会の中で孤立せず、職場で気持ちよく働き、家族をつくり、地域に根を張って生きていくために、私たちは考え、データを取り、アイディアを出し、実際に試し、社会に問いかけていきます。そのためには、LGBTだけでなく、様々な社会課題に目を向け、行政や企業、他のステークホルダーと一緒に取り組んでいくことが、ますます重要になるだろうと思います。

こうした試行錯誤を続けるためには、多くの方のご支援が必要です。是非、私たちの活動を応援してください!

特定非営利活動法人 虹色ダイバーシティ 理事長(代表)
村木 真紀



特定非営利活動法人 虹色ダイバーシティ 理事長(代表)
村木 真紀

1974年茨城県生まれ。京都大学 総合人間学部 卒業。社会保険労務士。日系大手製造業、外資系コンサルティング会社等を経て現職。LGBT当事者としての実感とコンサルタントとしての経験を活かして、LGBTに関する調査研究、社会教育活動を行っている。大手企業、行政、大学等で講演実績多数。共著「職場のLGBT読本」、「トランスジェンダーと職場環境ハンドブック」。

虹色ダイバーシティとSDGs



2030年に向けた
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

SDGs	虹色ダイバーシティの取り組み
	1/ 貧困をなくそう ○LGBTであることで学校や職場から疎外されることが貧困に繋がるため、アンケート調査等により、学校や職場におけるLGBTの課題の可視化と、その背景の分析に取り組んでいる ○貧困の問題に取り組む行政やNPOに対して、研修を実施し、共同でイベントを行っている
	2/ 飢餓をゼロに ○アンケート調査等により、LGBTの健康問題の可視化に取り組んでいる ○行政職員向けの研修を実施しており、福祉の問題に取り組む人にLGBTについて知つてもらう活動をしている ○大阪マラソンやプライドハウス東京への参加を通じて、LGBTも疎外されないスポーツ環境づくりに取り組んでいる
	3/ すべての人に健康と福祉を ○アンケート調査等により、LGBTの教育問題の可視化と、その背景の分析に取り組んでいる ○教職員、学生向けの研修や講義を実施し、より良い教育環境づくりに取り組んでいる
	4/ 質の高い教育をみんなに ○アンケート調査等により、LGBTの教育問題の可視化と、その背景の分析に取り組んでいる ○LGBTに関する調査研究にジェンダー平等に関する知見を活かすため、国際基督教大学ジェンダー研究センターとの協働など、ジェンダーに関する研究者との連携を積極的に行なっている
	5/ ジェンダー平等を実現しよう ○LGBTの平等はジェンダーの平等なしには実現しない、という信念の元、ダイバーシティ施策の一環としてLGBTの課題に取り組むよう、企業や行政に働きかけている ○LGBTに関する調査研究にジェンダー平等に関する知見を活かすため、国際基督教大学ジェンダー研究センターとの協働など、ジェンダーに関する研究者との連携を積極的に行なっている
	6/ 安全な水とトイレを世界中に ○特にトランスジェンダーで、公共トイレが使いにくいという課題があることを、アンケート調査のデータ等を元に社会に訴えている
	8/ 働きがいも経済成長も ○LGBTと職場の問題に関して、専門家として、調査研究、情報発信をしている ○LGBTに関するハラスメントが社会的損失であることを可視化するプロジェクトに参画している
	10/ 人や国の不平等をなくそう ○多様な性を生きる人たちが社会の中でどのような不平等な経験をしているのかを調査し、社会に訴えている ○不平等を是正するための社内規定や自治体の条例について、個別に相談を受けている
	11/ 住み続けられるまちづくりを ○大阪市淀川区LGBT支援事業を受託し、その成果を全国に広げる活動をしている ○地方での講演や研修を実施している ○LGBT施策の担い手を育てる「LGBTスピーカースキルアップ講座」を全国9箇所で実施した ○地方の問題に関して、アンケート調査等で可視化に努めている
	12/ つくる責任つかう責任 ○必要物品の購入の際は、LGBT施策を実施している企業の商品を選択するよう努めている
	16/ 平和と公正をすべての人に ○法の下の平等の観点から、性的指向や性自認等によって差別されず、公正に扱われる職場づくり、社会づくりに向けた活動をしている
	17/ パートナーシップで目標を達成しよう ○企業、行政はもちろん、学術機関や他分野NPOとの連携に力を入れている

▶ 詳細はホームページをご覧ください。 <http://nijiiriodiversity.jp/sdgs/>

沿革

●2012

イギリスで行われたLGBTと職場に関する国際会議に参加

●2013 | 講演28回

一般財団法人ダイバーシティ研究所の運営するシェアオフィスに入居／7月26日にNPO法人化

●2014 | 講演102回

淀川区LGBT支援事業を受託(2019年度まで継続)／LGBTと職場に関するアンケート調査を開始(国際基督教大学センター研究センターと共同研究、2015年、2016年、2018年、2019年も実施)

●2015 | 講演117回

Google「Google+インバウンドチャレンジ賞」受賞／共著「職場のLGBT読本」発行／米国務省ILPVCに村木が選出され、アメリカ5都市を視察／日経WOMAN!「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2016 チェンジメーカー賞」受賞

●2016 | 講演150回

大阪オフィス開設／LGBTとトイレに関するアンケート調査(LIXILと共同研究)／TEDxUTokyoに出演(スポーツとLGBTがテーマ)／日本経済新聞社「日経ソーシャルインシアノ大賞 新人賞」受賞／LGBTスピーカースキルアップ講座を実施(2018年まで、大阪、東京、仙台、福岡、札幌、名古屋、沖縄、金沢、高松にて実施)／ILGAの資料を参考に日本語版の「性的指向に関する世界地図」を発表／内閣人事局にてLGBT研修／新公益連盟に加盟

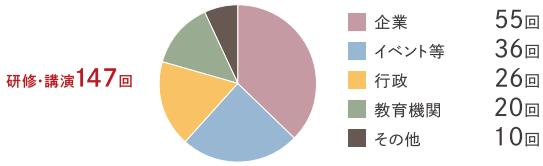
●2017.1～8 | 講演86回

東京オフィス開設／渋谷区パートナーシップ証明実態調査(渋谷区の受託事業)／港区にて「性的マイナリティとトイレ・フォーラム」を実施／日本トイレ研究所「日本トイレひと大賞」受賞／YouTubeチャンネル「niji STATION」開設／司法研修所(裁判官向け)、人事院にてLGBT研修

●2017.9～2018.8 | 講演185回

共著「トランジションセンターと職場環境ハンドブック」発行／企業内のALLYを増やす取り組みに関する調査(JTと共同研究)／独立行政法人 労働政策研究・研修機構による「LGBTの社会的困難による経済損失の推計」プロジェクトに参画／カナダで開催されたLGBTに関する国際会議 Equal Rights Coalitionに参加／人事院、文部科学省、厚生労働省、国会図書館、消防大校にてLGBT研修／日本教育心理学会で発表／特例認定NPO法人を取得／LGBTと職場に関するカンファレンスwork with Prideで発表された「PRIDE指標」作成に参画

●2018.9～2019.8



○研修のテキスト「職場におけるLGBT・SOGI入門」発売

○LGBTと職場に関するアンケート調査「niji VOICE2019」を実施(国際基督教大学ジェンダー研究センターと共同研究)

○ファイザー社の助成を受け、アライに関するインタビュー調査を実施

○TENGA社の助成を受け、「にじいろ子育てアンケート調査」を実施

○日本心理学会、スポーツ法学会で発表

○オーストリアで開催されたユーロプライドに参加

○ニュージーランドで開催されたILGAワールドに参加

○新公益連盟の監事に就任

○京都ジョブパークにて就業支援者向けの研修

○茨城県、渋谷区、大津市等、行政のLGBTに関する施策に協力

他団体とのコラボ

○「プライドハウス東京」に参画、「誰も排除しないスポーツ環境づくりのためのハンドブック～Sports for Everyone」制作に協力

○結婚の自由をすべての人に -Marriage for All Japan- の活動に協力

○G20の関連イベントであるC20、W20に参画

○「LGBT自治体施策提言集」(<https://regionallgbtpolicy.jp>)作成に参画

○ビッグイシュー基金主催のフットサル大会(ダイバーシティ・カップin関西)にLGBTアーチームで出場

○タグ・ラグビー「FIVES」のイベントに登壇

○障害者就労支援施設「book and café cocoaru」のイベントに登壇、ドリップコーヒーも販売

○「みらいの2」で福祉関係者向けに研修

○プラップジャパンと共同でメディア向けのセミナーを開催

○大阪弁護士会の憲法週間記念行事に登壇

○妙心寺春光院にて瞑想イベント開催

○東京都港区男女共同参画センター「リープラ」の事業に参画(「弟の夫」上映会、セミナー)

○東京レインボープライドにブース出展

○東京レインボーマラソン(10km)を完走

熱い思いを持ったスタッフが 集まっています



行政、大学での講演、
行政のLGBT支援事業を担当

橋本 竜二

大阪スタッフ

精神保健福祉士
関西学院大学非常勤講師

1990年滋賀県生まれ。龍谷大学文学部哲学科卒業。
日系大手ハウスメーカー、滋賀の不動産にて住宅
営業職を経て、2016年より現職。大阪市淀川区

LGBT支援事業の運営、講演活動などを担当。行政や教育機関のLGBT施策に関する相談に、
LGBT支援の現場を知るアドバイザーとして関わる。



頼もしいバックオフィス担当

谷口 優子

大阪スタッフ

1970年福岡県生まれ。熊本女子大学(現熊本県立
大学)経営学部経営学科卒業。大手英会話学校で
5年間勤務後、沖縄の設計事務所にて、国内の米軍
基地の設計業務部のコーディネーターとして勤務。2017年6月より現職。総務・経理の他、行
政提出資料の作成や英語でのコミュニケーションを担当。



ホームページやSNSでの情報発信、
コミュニケーションを担当

井上 陽子

大阪スタッフ

1975年兵庫県生まれ。大学卒業後、印刷関連企業
にて約13年間、印刷物の企画・デザインに従事。
その後、美容室の経営企画と人事担当を経験。

フリーランスにてデザインや写真撮影をする傍ら、2017年4月より虹色ダイバーシティに
参画。主にホームページ、SNSの管理、グッズの企画や販売、記録撮影を担当。



企業向けの研修や相談を担当

有田 伸也

東京スタッフ

1986年奈良県生まれ。近畿大学理学部卒業。5つ星
ホテル、飲食業界にてマネージメント業務に従事。
ソムリエ資格所持。前職の飲食関連ベンチャー企業
で、人事・採用・教育・労務など、人事系の幅広い業務を5年経験し、現職に。主に関東の
企業研修や相談、イベントを担当。

理事



東 優子

大阪府立大学教授



菅原 絵美

大阪経済法科大学
国際学部准教授



坂田 麻智

メーカー勤務



テレサ・スティーガー

教育関連企業勤務

監事



三輪 晃義

のぞみ共同法律事務所
弁護士

メディアでも活動が取り上げられています！ 2018.9～2019.8のメディア掲載（一部）

テレビ | TV

- NHK「あしたも晴れ！人生レシピ」
- NHK WORLD「NEWSROOM TOKYO」
- フジテレビ「FNN PRIME α」
- BS日テレ「深層NEWS」

新聞 | News Paper

- 日本経済新聞
- 京都新聞
- 朝日新聞
- 毎日新聞
- 読賣新聞
- 東京新聞

雑誌 | Magazine

- 日本労働研究雑誌
- 日本公認会計士協会「会計・監査ジャーナル」
- 中外日報
- 本願寺新報
- 日経ウーマン
- 東京都人権啓発センター「TOKYO人権」
- THE BIG ISSUE JAPAN
- 労務事情
- 企業実務
- 月刊福祉
- オルタナ

社会を変える データをつくる！

LGBTは職場や社会の中でカミングアウトしにくく、その困難も見えにくいマイノリティだと
言われています。私たちは学術機関や企業、行政と協力して、
LGBTに関する調査研究を行い、確かなデータを無償で広く公開することで、
社会の意識変革やLGBT施策推進の後押しをしています。

職場に関する調査

- 68%の職場ではLGBT施策が何も行われていない
 - LGBTのメンタルヘルスは悪く、孤独を感じている傾向
- 虹色ダイバーシティは、国際基督教大学ジェンダー研究センターと共に、インターネット上でLGBTと職場に関するアンケート調査を実施しています。2014年～2019年で1万人以上の声を集めており、これは国際的にも非常に貴重なデータだと評価されています。こうした調査結果はホームページ上で広く公開しており、職場のLGBT施策推進の裏付けとなる資料として使われています。メディアで紹介される機会も多く、学術論文にもなっています。

niji VOICE 2019

2019速報値の紹介
(詳細の報告会は2020年1月に実施予定)



自治体パートナー登録件数調査

自治体のパートナー登録制度に関して、実施している自治体と登録件数を定期的に電話等で確認し、見やすい地図にまとめて、ホームページで無償公開しています。2015年に渋谷区・世田谷区から始まったこの制度ですが、2019年10月8日時点の調査では、26自治体617組まで広がっており、これから実施予定の自治体も多数あります。この調査結果は、SNSで数多くシェアされ、ニュースや新聞等のメディアでも引用されており、LGBTが生きやすい社会づくりに貢献しています。



<http://nijiiriodiversity.jp/category/open-data/regional-partners/>
(2019年度はみずほフィナンシャルグループ様から
ご協力をいただいています)

自治体のパートナーシップ制度

合計
26 自治体 **617** 組

北海道
北海道 札幌市 77組

※2019年10月11日から兵庫県三田市が開始。

関東地方

東京都 渋谷区	38組	東京都 豊島区	18組
東京都 世田谷区	102組	東京都 江戸川区	7組
東京都 中野区	35組	神奈川県 小田原市	3組
群馬県 大泉町	0組	神奈川県 横須賀市	7組
千葉県 千葉市	46組	栃木県 鹿沼市	0組
東京都 府中市	3組	茨城県	19組

北海道

北海道 札幌市 77組

中部地方

愛知県 西尾市 0組

中国地方

岡山県 総社市 1組

近畿地方

三重県 伊賀市 5組
兵庫県 宝塚市 8組
大阪府 大阪市 143組
大阪府 堺市 9組
大阪府 枚方市 7組

九州地方

福岡県 福岡市 45組
熊本県 熊本市 1組
宮崎県 宮崎市 6組
福岡県 北九州市 6組
長崎県 長崎市 4組

沖縄県

沖縄県 那覇市 27組

企業のLGBT施策推進のパートナーとして

LGBT施策に関しては、日本企業のほとんどは、まだ取り組みをはじめたばかりです。

どんな風に進めたらいいのか、多くの企業が悩んでいます。

虹色ダイバーシティは、企業で働いてきた当事者としての実感と最新のデータ、コンサルタント等としての経験を活かして、企業の取り組みを全力でサポートしています!

心を動かすLGBT研修

LGBTに関する基礎知識について、現状の教育現場では学ぶ機会がほとんどありません。また、当事者を身近に感じる機会が少ないので、当事者の実体験を直接聞きたい、というニーズもあります。そこで虹色ダイバーシティでは、多様な背景を持つLGBT当事者を講師に、分かりやすいスライドで基礎知識をしっかりと学ぶことができるプログラムを用意しました。

私たちは、**大手企業を中心に160社以上の研修実績**があり(ホームページで社名を公開しています)、非常に満足度が高いのが特徴です。標準的なプログラムだけでなく、人事、役員、管理職などの階層別、業界別、グループワークを入れたい等のニーズ別など、幅広く対応できるのも強みです。

「虹色ダイバーシティにお願いして、本当によかった」「研修をしてから、社内の空気が変わった」、そう言っていただけるのが私たちのやりがいです。



担当者の悩みと一緒に解決

虹色ダイバーシティには、人事やダイバーシティの担当者から、様々な相談が寄せられています。

社内でカミングアウトしてきた人がいるが、どう対応したらいいか?



社内規則や福利厚生を変えたいが、他社はどうしているのか?

社内でLGBTグループをつくりたいが、どうやって運営したらいいのか?



私たちは、本来こうあるべきという思いを柱に、各社特有の事情をお伺いした上で、一緒に悩み、当事者としての実感と豊富な事例・知見をベースにアドバイスをしています。定期的にご訪問して、様々な課題と一緒に考える顧問契約も可能です。是非、お気軽にご相談ください。

ニーズに合わせた教材づくり

人事部門や本社だけではなく、現場や地方拠点にもLGBTの基礎知識を広めたい、というニーズにお応えして、動画教材(15分～20分)、eラーニング教材(スライド10～20枚)、オリジナルの冊子を制作、販売しています。詳細はお問い合わせください。



LGBT
研修テキスト
発売中



職場における
LGBT・SOGI入門



トランスジェンダーと職場環境
ハンドブック

～誰もが働きやすい職場づくり～

共著: 東優子

特定非営利活動法人虹色ダイバーシティ

特定非営利活動法人ReBit

出版社:日本能率協会マネジメントセンター

地域を 変えていく

虹色ダイバーシティは働きやすい職場づくりを専門にしていますが、それは企業だけでは解決しません。

LGBTの抱える課題の源流は、教育現場や地域にあります。私たちは先進的な取り組みをしている自治体や大学と協力して、LGBT支援の現場から、社会を変えるヒントを探しています。

淀川区LGBT支援事業

2019年度の大坂市淀川区LGBT支援事業をNPO法人QWRCと共同で受託し、性の多様性に関する啓発物の作成やコミュニティスペースの運営(月3回、毎回約10~30人が参加)、個別相談(月1回、2名、予約制)などを実施しています。2014年の事業開始からこれまでに、延べ2,500人以上の方が利用しています。



ダウンロード
OK!

ご自由にご利用ください!

淀川区LGBT支援事業のホームページからPDFで資料をダウンロード可能
<http://niji-yodogawa.jp/>



日本中の自治体にこうした取り組みが広がることを願い、制作した資料を無料で公開しています

大阪マラソン

虹色ダイバーシティは2019年12月1日に開催予定の「第9回大阪マラソン」にて、チャリティ先の団体のひとつに選ばれました。大規模スポーツイベントのチャリティ先としてLGBT関連の団体が選ばれるのはおそらく日本初です。20名のチャリティランナーの一人として、代表・村木もフルマラソンに初挑戦します!大阪マラソンへの参加を通じて、ランナーや沿道で応援している人たちにLGBTの社会課題を知ってもらうよう、また、大阪マラソン自体がLGBTフレンドリーな大会となるよう、呼びかけたいと思います。



社会を変える ツールをつくる

人口の3~10%と言われるLGBTですが、マイノリティが社会を変えていくためには、どうしたらより社会にインパクトを与えるのか、工夫する必要があります。

私たちは、自分たちだけでなく、LGBTに関する活動をする個人や団体が活動の「てこ」として使えるツールを独自に開発し、公開しています。

niji STATION (虹ステーション)



「学校や職場でLGBT研修をしたいが、予算がないし、近くに依頼できる団体もないし、そもそも誰に頼んだらいいのかわからない」、そんな声にお応えして、企業や行政で非常に満足度の高い虹色ダイバーシティのLGBT研修を、YouTubeで無料体験できるツールです。

私たちが研修でお伝えしている内容を、3分~5分の短い動画、約50本に編集して、学校向け、職場向け、当事者向けなど、テーマごとにプレイリストにまとめています。是非教材としてご活用ください!

<http://nijirodiversity.jp/nijistation/>

(このプロジェクトは、Google インパクトチャレンジの助成を受けて実施しましたが、助成期間はすでに終了しており、現時点で更新の予定はありません。)



職場で使えるグッズ・ひな型

虹色ダイバーシティのホームページで、以下のグッズやひな型を無償公開しています。今後も随時追加していく予定ですので、是非ご活用ください!

- 職場のLGBTグループ運営における名札やグラントルールのひな型
- 食堂等に飾るレインボーポップ
- トランスジェンダーの社員が職場で対応を望む場合のヒアリングシート



<http://nijirodiversity.jp/category/open-data/office-goods/>



虹色ダイバーシティをご支援ください

私たちはLGBT研修などの自主事業を中心に団体を運営してきましたが、常勤スタッフを安定して雇用し、事務所を維持するためには、財源のバランスを取る必要があります。特に**調査研究や行政・大学向けの支援などは、すぐに収益化が難しい事業**ですが、NPO法人としてしっかり力を入れたい事業でもあります。

カミングアウトが難しく、声を上げることも難しいLGBTの「声」を、社会を変える推進力にするために、私たちのデータが必要です。是非ご支援をお願いいたします。

税額控除あります



[個人ができるサポート]

○定額寄付 毎月500円～

○随時寄付 3,000円～

虹色ダイバーシティは2017年11月30日に特定認定NPO法人となっており、寄付者は、寄付額に応じて税額控除が受けられます。



ご寄付専用サイト



[法人ができるサポート]

1口10万円からの寄付をお願いしております。使途を指定したご寄付や、共同研究や共同事業、イベントでのボランティアなども可能です。是非ご相談ください。



□通信販売



<http://ndiversity.theshop.jp>



▲車上レインボーセット



▲LGBT研修テキスト



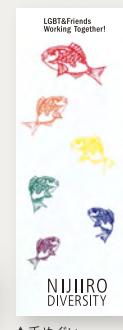
▲レインボーストラップ



▲ドリップコーヒーパック



▲クラウドステッカー



▲手ぬぐい

職場の研修に使用できる冊子、職場で使える虹色のピンバッジや文具などを通信販売しています。デザイン性も高く、使いやすいと大変好評です。

オリジナル・グッズ制作

各企業の自社ロゴを活かしたロゴやオリジナル・グッズの制作も請け負っています。お気軽にお問い合わせください。



大阪オフィス 〒530-0041 大阪市北区天神橋1-12-15 #601

東京オフィス 〒108-0023 東京都港区芝浦3-10-6 #408

<http://nijirodiversity.jp/>



@nijidiversity



nijirodiversity

NIJIRO
DIVERSITY
特定非営利活動法人
虹色ダイバーシティ

講演、取材のご依頼、ご寄付などに関するお問い合わせはウェブサイトのお問い合わせフォームからお願いします。

制作
デザイン
発行
特定非営利活動法人虹色ダイバーシティ
妹尾畠留美
2019年12月1日

Nijiiro Diversity

Workplace Equality for LGBT people in Japan

'Nijiiro' means 'rainbow' in Japanese. To us, it symbolizes not only the LGBT community, but also our mission of promoting diversity and inclusion in workplace. We are the first Japanese organization to take on these issues. We are one of ten finalists in the 2015 Google Impact Challenge.

Research

-Annual LGBT workplace survey and analysis
(2014,2015,2016,2018,2019 more than 10,990 LGBT and allies)

Education

-Seminars for corporations, government entities, educational institutions

-Publish "LGBT workplace guide" 2015, "Transgender and Workplace Handbook" 2018

Donations

Like many NPOs and other organizations, we rely heavily on contributions from our supporters. For more information about making a donation, please contact our office.



✉ staff@nijirodiversity.jp

🌐 http://nijirodiversity.jp/nijiyo_en/



会計情報

(単位:千円)

■ 活動計算書 2018年9月～2019年8月
経常収益 42,077 当期正味財産増減 127
〔収益の内訳: 会費・寄付金 4,269、事業収益 37,808〕

■ 貸借対照表 2019年8月31日

現預金 28,363

売掛金 2,857

その他 2,246

資産合計 33,466

未払費用 1,692

その他 2,303

負債合計 3,995

正味財産合計 29,470

負債及び正味財産合計 33,466

詳細な会計情報はホームページに掲載しています